

広島県新産サンインヒエスゲ *Carex jubozanensis* J. Oda et A. Tanaka

齋藤隆登

広島市立東野小学校

Carex jubozanensis J. Oda et A. Tanaka Newly Recorded from Hiroshima Prefecture

Takato SAITO

Hiroshima Higashino Primary School, Kawauchi 1-29-8, Asaminamiku, Hiroshima 731-0102

Abstract : *Carex jubozanensis* J. Oda et A. Tanaka Newly Recorded from Kitahiroshima-cho, Hiroshima Prefecture.

©2009 Kitahiroshima-cho Board of Education, All rights reserved.

サンインヒエスゲ *Carex jubozanensis* は、広島県新産のカヤツリグサ科スゲ属植物である。本種は 2004 年に新種記載された種で (Oda et al. 2004), 広島県では 2006 年 5 月にはじめて北広島町で記録したので報告する。

産地は、北広島町豊平の龍頭山中腹である。少し光が差し込むスギ林の斜面の林床にマット状に生育していた。周りにはヒメカンスゲ *Carex conica* とショウジョウスゲ *Carex blepharicarpa*, ミゾシダ *Stegnogramma pozoi* ssp. *mollissima* が少しあるだけである。冬季には雪に覆われ見ることはできないが、それまでは青々とした姿を見せている。実をつける茎の高さは 30cm ほどで、葉が短いので、茎がよく目立つ。茎の根本の色は薄く、カンスゲなどとはまったく異なっている。マット状に広がっていることから、地下茎をのばしていることが分かる。

勝山 (2005) は分布が福井県から鳥取県の日本海側としている。今回、北広島町の学術調査で見つかった龍頭山は、日本海側ではない。中国山地から離れた場所でブナが自生していることや、独立峰の山容を呈している点からも、龍頭山には生物相の特異性があるかもしれない。

引用文献

勝山輝男 2005 日本のスゲ 375pp. 文一総合出版 東京

Oda, J., Tanaka, A., Naiki, A. and Nagamasu H. 2004 *Carex jubozanensis* (Cyperaceae), a New Species from Japan. Acta Phytotaxonomica et Geobotanica 54: 127-135.

2009 年 1 月 24 日受付 ; 2009 年 2 月 19 日受理

図 版 1

A: サンインヒエスゲ (花序)	北広島町龍頭山	2007年5月26日
B: サンインヒエスゲの生育状況	北広島町龍頭山	2007年5月26日
C: サンインヒエスゲの生育環境	北広島町龍頭山	2007年5月26日

图 版 1

